

# 第101回関西団地軟式少年野球選手権大会(新人戦)南大阪支部予選

抽選日:

終了:

Aブロック		1	2	3	4	5	6	勝敗	勝点	順位
1	金岡ベアーズ		9 - 6 ○	5 - 1 ○	11 - 5 ○	7 - 4 ○	3 - 3 △	4 勝 1 敗 1 分	13 失点 19	
2	北花田タイガー	6 - 9 ×		-	10 - 0 ○	-	2 - 4 ×	1 勝 2 敗 分	3 失点 13	
3	初芝メッツ	1 - 5 ×	-		9 - 5 ○	-	-	1 勝 1 敗 分	3 失点 10	
4	五箇荘フレンズ	5 - 11 ×	0 - 10 ×	5 - 9 ×		4 - 0 ○	-	1 勝 3 敗 分	3 失点 30	
5	英彰パープルキッズ	4 - 7 ×	-	-	0 - 4 ×		1 - 5 ×	勝 3 敗 分	0 失点 16	
6	ポルテベースボールクラブ堺	3 - 3 △	4 - 2 ○	-	-	5 - 1 ○		2 勝 敗 1 分	7 失点 6	

勝ち=○=3点、引き分け=△=1点、負け=×=0点

連盟順位決定方法により決定

勝点により順位決定

2チームが勝点同数の場合、当該チームの対戦結果、それが引分けの場合失点の少ないチームを上位とする

3チーム以上が勝点同数の場合、失点が最も少ないチームが上位、それが同数の場合、当該チームの対戦結果により順位を決定する  
上位3チームを中央大会に派遣する。

試合時間は85分を越え新しい回に入らない

投手の肘や肩の負担を減らすため、1試合の投手の投球数を制限する。

投手として出場し、打者に対して正しく投球した数が70球を越えた選手はその打者の打撃完了後、投手として再び守備につくことはできない

投手の球数は本部でカウントし、その球数をインニング終了後にチームに伝える

申告敬遠を採用する

申告敬遠される打者は、打撃席付近から塁に向かうこと(連続して申告敬遠する場合も同様)

申告敬遠は打者に対していつでも行う事ができる

申告敬遠は、その打者に1球投じたものとみなす(投手への球数をカウントしない)

投球することでの失うアピール権、打順間違いに適用される

自チーム審判とする

対戦チームは審判員以外に1名を運営補助員として本部に入れる(投球数のカウントと得点板の記入を行う)